

平成22年12月17日

各 位

株式会社 三井住友銀行

### 三井製糖株式会社に「SMB C環境配慮評価融資」を実施

株式会社三井住友銀行（頭取：奥 正之）は、三井製糖株式会社（代表取締役社長：飯田 雅明）に対し、「SMB C環境配慮評価融資」を実施しました。

三井住友銀行では、環境問題を重要な経営課題のひとつと認識し、地球環境保全と企業活動との調和に取り組んでおります。特に、地球環境の維持向上につながる商品の開発やソリューション提供は、金融機関として本業を通じた社会的責任を最も効果的に果たせる業務と考え、力を入れて取り組んでおります。

「SMB C環境配慮評価融資」は、三井住友銀行と株式会社日本総合研究所（代表取締役社長：木本 泰行）の作成した独自の評価基準に基づき企業の環境配慮状況を評価し、評価結果に応じたご融資条件の設定を行うとともに、環境経営における今後の改善余地を、簡易診断のかたちでご提供する融資商品です。

今回対象となった三井製糖株式会社に対する環境配慮状況の評価結果は、「環境負荷の把握の状況」「環境保全対策の取組と成果の状況」の面で高い水準であると判断され、企業経営において良好な環境配慮を行っているとの評価となりました。

特に、①製品パッケージに使用される資源削減に向け、マテリアルフローコスト会計の手法を用いて改善点を洗い出すなど、新たな取り組みに着手し、真摯な取り組みをされている点、②自社製品のライフサイクルにわたる環境負荷の調査を通じ、低炭素社会の実現に向け貴重な基礎データを提供されている点、③三温糖パッケージにおいて、エコ包装の採用などを始められ、消費者の啓発、環境に配慮したライフスタイルの提案を目指しておられる点などが高く評価されました。

なお、今回の三井製糖株式会社による「SMB C環境配慮評価融資」の活用は、製糖業界では初となります。

三井住友銀行では、「SMB C環境配慮評価融資」により、環境配慮を進める企業の取り組みを客観的に評価・診断することで、企業の環境配慮活動を支援して参ります。



サトウキビ栽培段階の環境負荷調査



エコパッケージの三温糖

以 上